

門真市上下水道事業経営審議会の会議録（議事要旨）

令和元年 8 月 6 日

会議の名称	第 1 回門真市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和元年 7 月 23 日（火）午後 2 時 00 分から午後 5 時 00 分まで
開催場所	門真市上下水道局 第 1 会議室
出席者	(会長)小西会長 (副会長)水野副会長 (委員) 溝端委員、葭田委員、岸岡委員、谷野委員、梶原委員、西口委員、松本委員 【出席人数 9 人／全 10 人中】
議題 (内容)	◎会議の公開について ◎水道事業の経営状況について ◎公共下水道事業経営戦略について ◎その他
傍聴定員	10 名
担当部署 (事務局)	(担当課名) 上下水道局 経営総務課 (電話) 06-6903-3131
会議記録 (議事内容)	<p>【会議の要旨】 ※「審議会等の会議の公開に関する指針」第 8 条第 3 項により、会議の議事要旨を公表するものです。</p> <p>◎会議の公開について 会議の公開について審議し、公開としました。</p> <p>◎水道事業の経営状況について 事務局から水道事業の概要や策定している各種計画の概要、将来の事業環境、平成 30 年度に実施したアセットマネジメントの結果、経営状況について説明しました。</p> <p>◎公共下水道事業経営戦略について 事務局から経営戦略策定の概要として、「経営戦略の概要」、「公共下水道事業の概要」、「現状評価と課題」、「将来の事業環境」、「今後の主な事業概要」の 5 点について説明しました。</p> <p>◎その他 次回開催日・場所 令和元年 9 月 13 日（金） 午後 1 時 30 分から 門真市上下水道局 第 1 会議室</p>
会議録 公開予定日	令和元年 9 月 13 日（金） ※第 2 回門真市上下水道事業経営審議会終了後

主な意見

【水道事業】

- 水道事業ビジョンの推計とその後の実績で大きな乖離がないかを確認すべきではないか。
⇒ 次回までに整理する。
- 他の市町村に比べても非常に高い単価というように対して、今現在これらに対して何らかの取り組みというものはあるか。また単価が高いということに対して、要因というものを分析しているか。
⇒ 新設工事や更新工事等、多額の投資が必要であった時に設定した料金体系を大きく見直していないため、他の市町村と比較して高い供給単価となっている。
- 水道事業と下水道事業の将来人口が異なっているが収益への影響を確認すべきではないか。
⇒ 次回までに整理する。
- 既存管路の更新率が「耐震化計画に基づき100年（年1%）」となっているが現実的な数値なのか。それぐらいの期間、水道管がもつのか。
⇒ 組織体制や財政的な観点、技術的な改良点等を総合的に勘案して100年と設定している。
- アセットマネジメントの結果について、将来的に資金不足が発生する見込みがあるが、水道料金を見直したら資金不足は生じないのか。
⇒ 今のままでは資金不足が発生することになるが、それを回避するための対応策の1つとして水道料金の見直しが考えられる。
- 大阪広域水道企業団から受水しているが、今後の受水単価の動向は考慮しているか。
⇒ 次回までに整理する。
- 料金算定期間は基本的に5年とされているが、本審議会ではどのぐらいの期間を考えているか。
⇒ 次回までに整理する。

【下水道事業】

- 下水道使用料が安価であるといった経営的な課題は記載されているが、施設や計画といった技術的な課題というのはどういったように考えているか。
⇒ 法定耐用年数である50年を超える管渠は全体の0.2%程度であり、今後増加していくことが課題であると認識している。
- 流域下水道の負担金が増額すると考えられているため、下水道使用料の値上げは必要だと考える。今後における流域下水道の負担金については認識しているか。
⇒ 次回までに整理する。
- 平成7年から下水道使用料を改定していない背景を資料に反映すべきではないか。
⇒ 次回までに整理する。
- 経費回収率が100%を下回っているということは、下水道使用料で汚水処理費を賄っていないということか。
⇒ お見込みのとおり。
- スtockマネジメント計画にてリスク評価とあるが、リスクがあると下水道として使えなくなるという意味か。人命にかかわる事故等は考慮しているか。そういった部分を資料にて説明をするべきではないか。
⇒ 次回までに整理する。